



三菱UFJリース

2011 年 3 月期第 2 四半期決算概要

(証券コード：8 5 9 3)

決算発表日：2010 年 11 月 5 日

お問い合わせ先

広報 I R 部

TEL：03-6865-3002、FAX:03-6895-5306

当社ホームページアドレス：<http://www.lf.mufg.jp/>（日本語）
<http://www.lf.mufg.jp/english/>（英語）

※ 本資料には現時点での将来予測数値が含まれますが、将来の様々な要因により変動することがありますのでご注意ください。

Value Integrator

目次

1. 2011 年 3 月期第 2 四半期決算要約	3
2. 連結決算主要項目の推移	4
(1) 損益計算書 関連項目	4
(2) 貸借対照表 関連項目	6
3. 資金調達の状況	8
4. 貸倒関連費用等	9
5. 主要連結構成会社の決算概要	10
6. 営業状況（契約実行高）	12
取引種別内訳	12
取引種別構成比	12
物件別（リース・割賦）、取引形態別（金融・その他）内訳	13
7. 営業の取組み	14
(1) オペレーティングリース	14
(2) 中古機器売買	14
(3) e-Leasing Direct （資産管理サービス）	15
(4) E S C O 事業（環境関連サービス）	16
(5) グリーンリース（環境関連サービス）	16
(6) 排出権関連ビジネス（環境関連サービス）	17
(7) 不動産関連ファイナンス	18
(8) シンフォニー（不動産関連サービス）	19
(9) P F I 事業（不動産関連サービス）	20
(10) オートリース	21
(11) ファクタリング	21
8. 2011 年 3 月期決算予想	22
9. 中期経営計画について	23
10. ニュースリリース	24

1. 2011 年 3 月期第 2 四半期決算要約

(金額単位：億円)

	2011/3 期 第 2 四半期	前年同期比 (増減率)	2010/3 期 第 2 四半期
売上高	3,654	－1.9%	3,725
売上総利益	596	＋11.4%	535
営業利益	277	＋105.9%	134
経常利益	286	＋101.6%	142
純利益	134	＋27.7%	105
契約実行高	5,877	－12.5%	6,716

(金額単位：億円)

	2011/3 期 第 2 四半期	前期末比 (増減率)	2010/3 期
純資産	3,778	＋3.0%	3,669
総資産	37,943	－2.3%	38,851

- 国内経済は、徐々に持ち直してきてはいるものの、世界経済の減速懸念や急速な円高など依然として先行きに対する不透明感が残っており、未だ本格的な景気回復には至っていません。このような状況において、当社は中期経営計画“Vision2010”で掲げた様々な戦略を着実に推進すると共に、持続的な成長に向けた基盤作りに注力いたしました。
- 当第2四半期累計期間の売上高は、前年同期比 1.9%減少の 3,654 億円となりました。収益性の向上を念頭に置いた営業を展開すると共に、低利で安定した資金調達を実施した結果、売上総利益は前年同期比 11.4%増加の 596 億円となりました。
- 厳格な与信審査を実施し貸倒関連費用の抑制を図った結果、販売費及び一般管理費における貸倒関連費用（一般貸倒引当金を含む）が前年同期比 89 億円減少の 90 億円となったこと等により、営業利益は前年同期比 105.9%増加の 277 億円、経常利益は前年同期比 101.6%増加の 286 億円となりました。
- 特別損益段階において、償却債権取立益 8 億円を特別利益に計上したこと、また、国内株式市場の低迷を受け保有有価証券の評価損を特別損失に計上したこと等により、純利益は前年同期比 27.7%増加の 134 億円となりました。
- 契約実行高は、民間企業における設備投資が低迷する中、引続き収益性重視の営業を行った結果、前年同期比 12.5%の減少となりました。

2. 連結決算主要項目の推移

(1) 損益計算書 関連項目

(金額単位:百万円)

	連結				
	07/3第2四半期 06年4月～9月	08/3第2四半期 07年4月～9月	09/3第2四半期 08年4月～9月	10/3第2四半期 09年4月～9月	11/3第2四半期 10年4月～9月
1 売上高	254,716 -0.9%	496,999 +95.1%	425,565 -14.4%	372,573 -12.5%	365,481 -1.9%
2 賃貸料収入	178,801 -4.3%	384,060 +114.8%	319,156 -16.9%	279,495 -12.4%	281,303 +0.6%
3 割賦売上高	59,057 +0.6%	83,870 +42.0%	73,464 -12.4%	61,491 -16.3%	51,339 -16.5%
4 営業貸付収入	8,341 +39.0%	17,690 +112.1%	18,735 +5.9%	19,386 +3.5%	18,665 -3.7%
5 その他の売上高	8,516 +54.6%	11,377 +33.6%	14,208 +24.9%	12,201 -14.1%	14,172 +16.2%
6 売上原価	227,284 -1.5%	443,970 +95.3%	371,155 -16.4%	319,024 -14.0%	305,813 -4.1%
7 売上原価 / 売上高 (売上高売上原価率)	89.2% -0.5P	89.3% +0.1P	87.2% -2.1P	85.6% -1.6P	83.7% -1.9P
8 賃貸原価	159,603 -4.5%	342,491 +114.6%	281,203 -17.9%	242,847 -13.6%	240,267 -1.1%
9 割賦原価	55,666 +0.7%	77,852 +39.9%	68,264 -12.3%	56,229 -17.6%	46,691 -17.0%
10 資金原価	5,878 +30.6%	16,806 +185.9%	16,558 -1.5%	14,545 -12.2%	10,915 -25.0%
11 その他の売上原価	6,135 +61.2%	6,820 +11.2%	5,128 -24.8%	5,401 +5.3%	7,939 +47.0%
12 売上総利益	27,432 +4.1%	53,028 +93.3%	54,410 +2.6%	53,549 -1.6%	59,667 +11.4%
13 売上総利益 / 売上高 (売上高売上総利益率)	10.8% +0.5P	10.7% -0.1P	12.8% +2.1P	14.4% +1.6P	16.3% +1.9P
14 従業員数	1,072	2,249	2,330	2,256	2,268
15 一人当たり売上総利益 (年換算…×2)	51.2 -4.7%	47.2 -7.9%	46.7 -1.0%	47.5 1.6%	52.6 10.8%
16 販売費及び一般管理費	10,885 -14.6%	26,785 +146.1%	33,240 +24.1%	40,095 +20.6%	31,960 -20.3%
17 人件費	5,121 +5.3%	10,784 +110.6%	10,701 -0.8%	10,582 -1.1%	10,996 +3.9%
18 物件費	5,237 +7.2%	14,056 +168.4%	12,046 -14.3%	11,588 -3.8%	11,945 +3.1%
19 貸倒関連費用 (一般貸倒引当金を含む)	526 -82.4%	1,945 +269.5%	10,493 +439.5%	17,925 +70.8%	9,019 -49.7%
20 OHR	37.8% +0.8P	46.8% +9.0P	41.8% -5.0P	41.4% -0.4P	38.4% -3.0P
21 営業利益	16,547 +21.5%	26,242 +58.6%	21,170 -19.3%	13,453 -36.5%	27,707 +105.9%
22 営業利益 / 売上高 (売上高営業利益率)	6.5% +1.2P	5.3% -1.2P	5.0% -0.3P	3.6% -1.4P	7.6% +4.0P
23 経常利益	16,841 +20.9%	26,511 +57.4%	21,268 -19.8%	14,200 -33.2%	28,626 +101.6%
24 特別利益	1,458 +60.0%	1,874 +28.5%	926 -50.6%	7,934 +756.5%	925 -88.3%
25 特別損失	40 -69.7%	1,008 +2,420.0%	5,591 +454.4%	1,484 -73.5%	3,799 +155.9%
26 純利益	11,103 -5.8%	15,323 +38.0%	9,114 -40.5%	10,567 +15.9%	13,496 +27.7%

※下段の%、P(ポイント)は前年同期比を掲載

1. その他の売上高について（5 行目）
主に物件販売による収入、有価証券の収入、各種手数料収入などが含まれています。
2. その他の売上原価について（11 行目）
物件販売における仕入コストや各種支払手数料が含まれています。
3. 貸倒関連費用（19 行目）
貸倒関連費用の内訳は以下の通りです。

（金額単位：億円）

	個別引当金	一般引当金	合計
単体	59	24	83
連結子会社	16	-9	7
合計	75	15	90

4. 特別利益（24 行目）
償却債権取立益を8億円計上したこと等により当期の特別利益は9億円となりました。
5. 特別損失（25 行目）
投資有価証券評価損 18 億円、持分変動損失 15 億円を計上したこと等により、当期の特別損失は 37 億円となりました。
6. グループ会社数
当期末時点における連結子会社数、持分法適用関連会社数は以下の通りです。

連結子会社数	持分法適用関連会社数
87	5

(2) 貸借対照表 関連項目

(金額単位: 百万円)

	連結				
	2007/3期 2007/3末	2008/3期 2008/3末	2009/3期 2009/3末	2010/3期 2010/3末	2011/3期 2010/9末
1 純資産合計	154,267 +18.5%	312,352 +102.5%	342,633 +9.7%	366,891 +7.1%	377,829 +3.0%
2 総資産額	2,380,467 +30.4%	3,965,891 +66.6%	3,909,077 -1.4%	3,885,161 -0.6%	3,794,366 -2.3%
3 営業資産残高	2,185,763 +32.3%	3,630,737 +66.1%	3,497,071 -3.7%	3,517,982 +0.6%	3,458,376 -1.7%
4 内貸貸事業	820,541 -1.2%	1,794,936 +118.8%	1,565,325 -12.8%	1,677,155 +7.1%	1,692,958 +0.9%
5 内割賦販売事業	288,129 -3.6%	431,143 +49.6%	368,467 -14.5%	297,051 -19.4%	264,529 -10.9%
6 内貸付事業	901,858 +96.3%	1,145,939 +27.1%	1,227,716 +7.1%	1,222,770 -0.4%	1,197,791 -2.0%
7 内その他の事業	175,233 +174.9%	258,719 +47.6%	335,562 +29.7%	321,005 -4.3%	303,097 -5.6%
8 破産更生債権等	4,474 -52.0%	6,382 +42.6%	47,983 +651.8%	46,351 -3.4%	44,044 -5.0%
9 貸倒引当金	1,043	2,014	3,694	8,487	7,689
10 ネット破産更生債権等	3,431 -56.4%	4,368 +27.3%	44,288 +913.9%	37,863 -14.5%	36,354 -4.0%
11 自己資本比率	6.2% -0.9P	7.5% +1.3P	8.4% +0.9P	9.1% +0.7P	9.5% +0.4P
12 ROE…株主資本純利益率 (中間期は年換算)	15.9% -2.0P	13.6% -2.3P	2.3% -11.3P	6.1% +3.8P	7.6% +1.5P
13 ROA…総資産純利益率 (中間期は年換算)	1.0% -0.2P	1.0% +0.0P	0.2% -0.8P	0.5% +0.3P	0.7% +0.2P
14 有利子負債	2,033,869 +33.7%	3,314,673 +63.0%	3,190,431 -3.7%	3,148,926 -1.3%	3,056,964 -2.9%
15 間接調達	1,177,464 +44.7%	1,765,716 +50.0%	1,842,291 +4.3%	1,740,993 -5.5%	1,670,244 -4.1%
16 直接調達	856,404 +21.1%	1,548,957 +80.9%	1,348,139 -13.0%	1,407,932 +4.4%	1,386,719 -1.5%
17 内CP	552,300 +21.0%	900,800 +63.1%	892,900 -0.9%	872,400 -2.3%	871,200 -0.1%
18 内リース債権流動化	63,004 -22.8%	288,108 +357.3%	162,959 -43.4%	152,256 -6.6%	129,519 -14.9%
19 内社債	241,100 +42.7%	360,049 +49.3%	292,280 -18.8%	383,276 +31.1%	386,000 +0.7%
20 直接調達比率	42.1% -4.4P	46.7% +4.6P	42.3% -4.4P	44.7% +2.4P	45.4% +0.7P

※下段の%、P(ポイント)は前期末比を掲載

1. 内賃貸事業について(4行目)

流動資産の「リース債権およびリース投資資産」と有形固定資産及び無形固定資産の「賃貸資産」の合計を表示しています。

2. 内割賦販売事業(5行目)

割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しています。

3. 内貸付事業の内訳(6行目)

(金額単位:億円)

	営業貸付金			その他営業 貸付金 ^{※3}	合計
	一般貸付金	リースみなし 取引等 ^{※1}	子会社宛 貸付金 ^{※2}		
2007/3 期末	6,718	964	482	853	9,018
2008/3 期末	9,398	1,161	86	814	11,459
2009/3 期末	9,977	1,368	208	724	12,277
2010/3 期末	9,725	1,643	96	763	12,227
2010/9 期末	9,641	1,559	65	710	11,977

※1:リースみなし取引とは、お客様との間ではリース契約取引ですが、会計上は貸付金として処理している取引です。

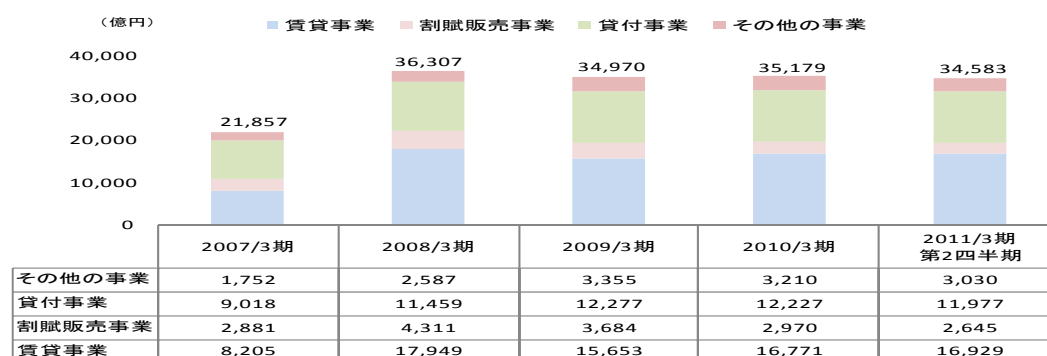
※2:主に非連結子会社向け貸付金です。

※3:主にファクタリング債権です。

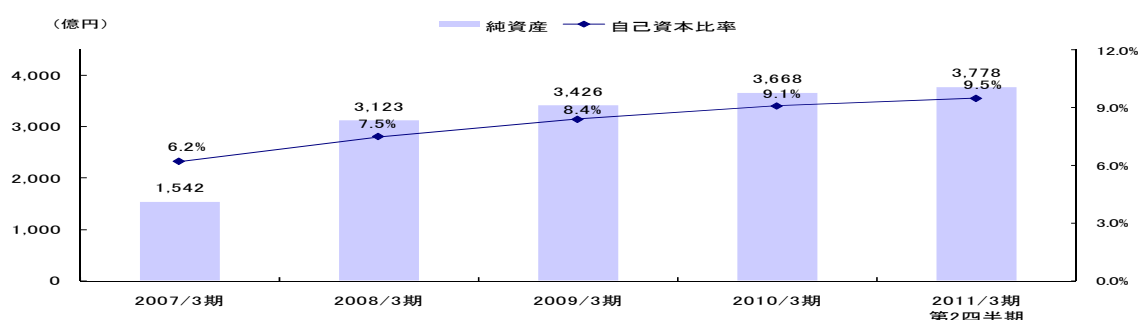
4. 内その他の事業(7行目)

営業有価証券、営業出資金などが含まれています。

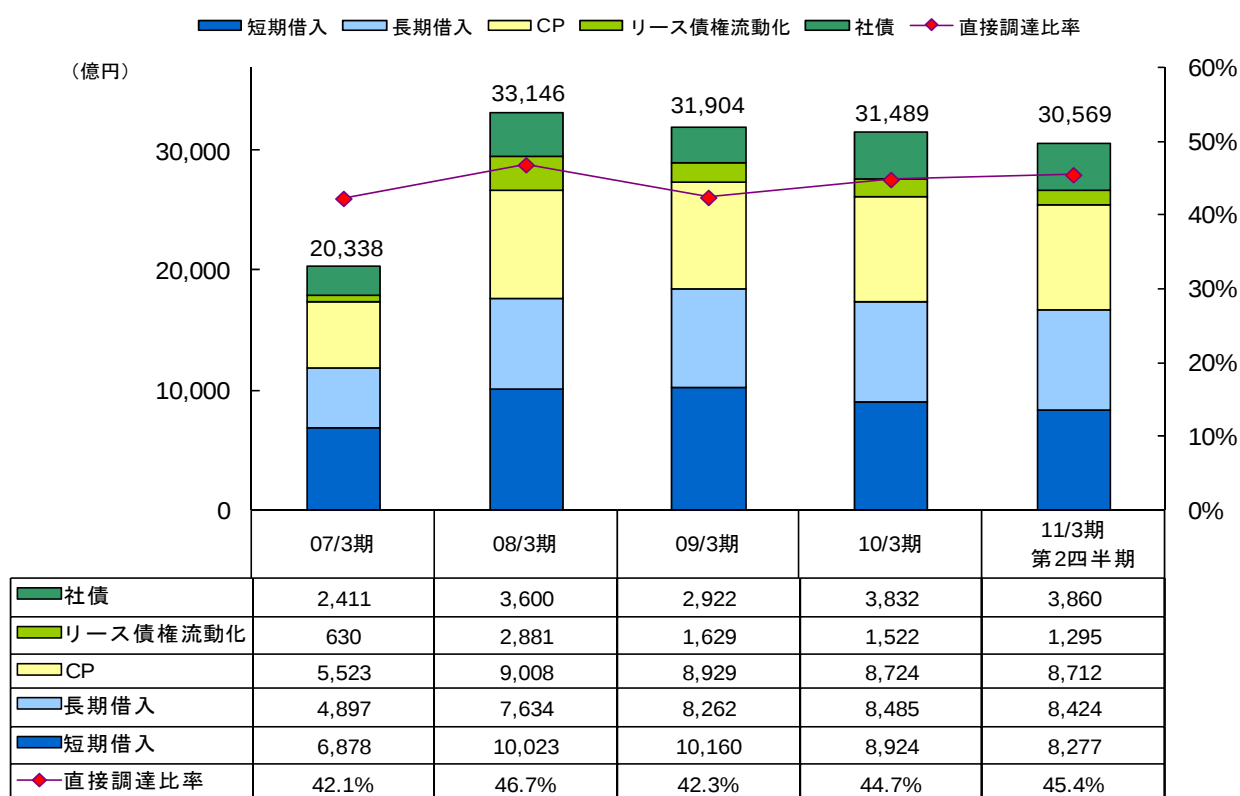
◎営業資産残高の推移



◎純資産と自己資本比率の推移



3. 資金調達の状況



- 連結ベースの有利子負債残高は3兆569億円となり、前期末比920億円減少いたしました。
- 金利変動リスクに対しては、主に金利スワップによるヘッジオペレーションを行っています。当期末の金利スワップの想定元本(固定化スワップ)は3,827億円です。

◎最近の社債の発行状況

発行時期	金額	期間	利率 (年)	スプレッド	
				スワップ比	国債比
2008年9月	200億円	3年	1.280%	17bp	－
2009年6月	450億円	3年	1.280%	50bp	－
2009年9月	250億円	4年	1.110%	33bp	－
2009年12月	300億円	3年	0.820%	16bp	－
2010年3月	200億円	4年	0.720%	6bp	－
2010年6月	250億円	5年	0.687%	▲3bp	23bp
2010年9月	200億円	5年	0.532%	▲3bp	23bp

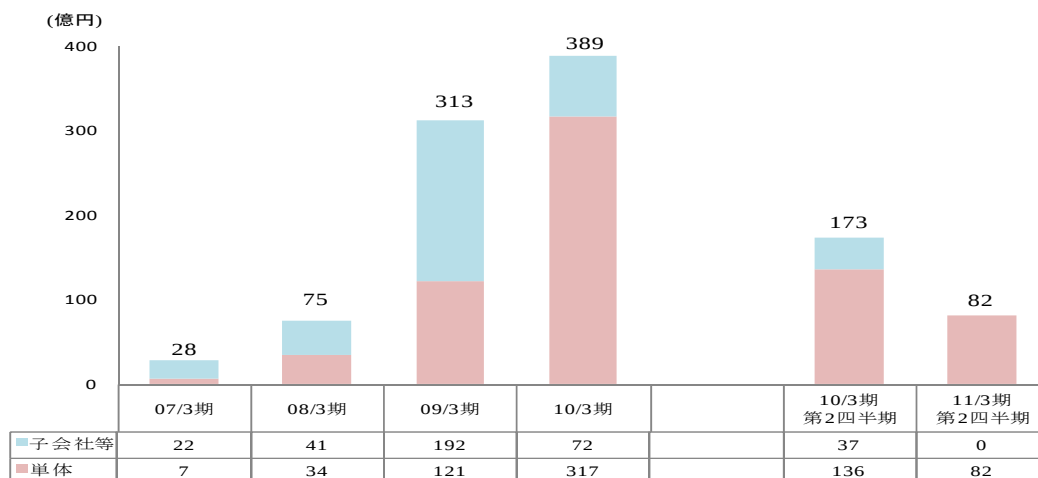
※上記の「スワップ比」は、発行した社債の期間に対応するスワップレートと社債利率の差を表示。

◎外部格付

格付機関		2010/11/5現在
J C R (日本格付研究所)	(長期)	AA－
	(短期)	J－1+
R & I (格付投資情報センター)	(長期)	A+
	(短期)	a－1
M o o d y ' s	(長期)	A1
	(短期)	P－1

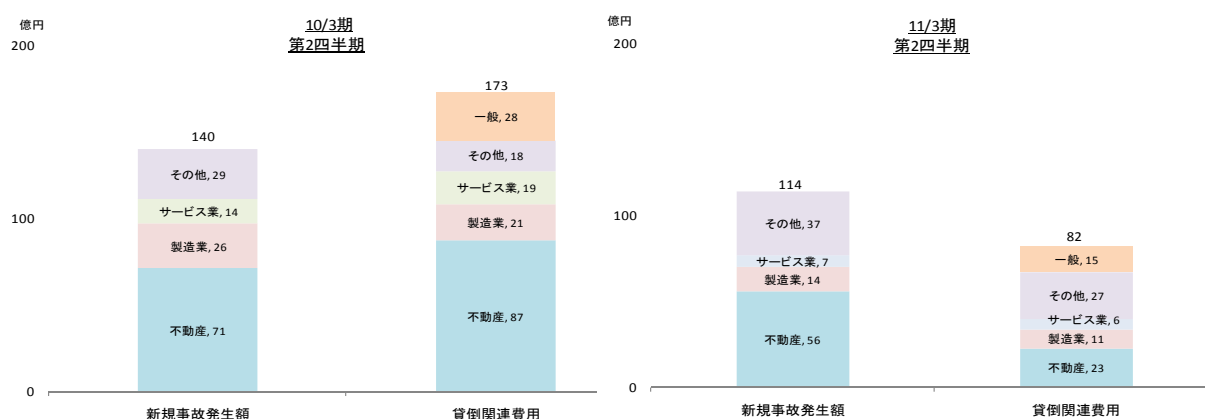
4. 貸倒関連費用等

1. 総貸倒関連費用の推移



上記金額は、連結ベースの総貸倒関連費用です。当該金額には、売上原価処理分、販売費および一般管理費計上分、特別損益計上分が含まれています。

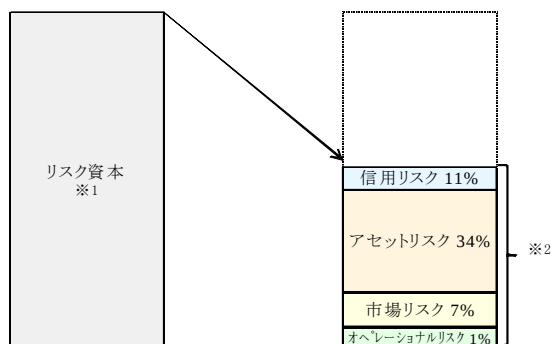
2. 新規事故発生額と総貸倒関連費用の前年同期比較（業種別）



当期の新規事故発生額は前年同期比 18.6%減少の 114 億円となりました。総貸倒関連費用は、新規事故発生の減少などにより前年同期比 52.6%減少の 82 億円となりました。

3. 統合リスク管理

リスク量 (連結/2010 年 9 月末)



※1 リスク資本:株主資本のれん

※2 リスク資本に対する各リスク量の比率

様々なリスクを計量化することにより、統合的なリスク管理を行っています。左表は、2010 年 9 月末時点の各種リスクについて、最大損失額を VaR (Value at Risk) 等で算出したリスク量です。信用・市場・オペレーショナルなどのリスクに留まらず、アセットリスクまで算出するなど、厳格なリスクマネジメントを行っています。

5. 主要連結構成会社の決算概要

金額単位:百万円

損益項目	三菱UFJリース(MUL) (単体)		ディー・エフ・エル・リース (DFL) MUL持分割合:95%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	252,212	-3.3%	9,912	-8.0%
売上総利益	40,387	+11.6%	1,175	+6.9%
営業利益	18,075	+94.7%	557	+324.9%
経常利益	19,257	+105.5%	564	+320.0%
純利益	7,725	+88.3%	476	+90.1%
資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	2,829,860	-1.9%	48,019	-8.1%
総資産	3,148,416	-2.8%	49,948	-7.8%
純資産	332,235	+1.5%	6,299	+8.2%

損益項目	日医リース(日医) MUL持分割合:100%		神鋼リース(神鋼) MUL持分割合:80%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	16,311	+10.4%	13,963	-12.1%
売上総利益	1,845	+18.1%	1,152	-4.2%
営業利益	819	+70.5%	464	+61.2%
経常利益	832	+78.0%	483	+66.1%
純利益	485	+72.4%	272	+54.0%
資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	90,508	+0.2%	103,352	-4.6%
総資産	93,721	+0.6%	107,683	-7.8%
純資産	8,695	+5.9%	5,603	+4.4%

損益項目	カシオリース(CL) MUL持分割合:80%		ひろぎんリース(HL) MUL持分割合:80%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	9,191	-4.5%	11,123	-9.5%
売上総利益	912	+12.5%	1,259	+8.1%
営業利益	616	+146.0%	813	+41.1%
経常利益	616	+143.0%	810	+4.5%
純利益	383	+117.2%	520	-21.9%
資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	38,228	-3.6%	59,153	-4.4%
総資産	39,346	-3.1%	62,413	-4.1%
純資産	9,697	+4.1%	6,535	+8.3%

金額単位:百万円

損益項目	首都圏リース(首都圏) MUL持分割合:76%		中京総合リース(中京) MUL持分割合:70%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	12,182	-11.9%	3,790	-2.1%
売上総利益	1,855	-30.8%	470	+19.5%
営業利益	1,185	+16.2%	23	-
経常利益	1,211	+17.1%	27	-
純利益	759	+13.0%	76	+746.5%
資産項目	金額		金額	
	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	95,558	-4.0%	17,320	-5.0%
総資産	99,567	-3.2%	18,093	-5.0%
純資産	8,940	+8.3%	4,494	+1.6%

損益項目	MMCダイヤモンドファイナンス(MDF) MUL持分割合:50%		ダイヤモンドレンタルシステム(DRS) MUL持分割合:100%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	8,504	+5.7%	12,259	+0.6%
売上総利益	3,371	+23.3%	1,251	+14.0%
営業利益	731	+201.5%	321	+201.4%
経常利益	735	+206.6%	319	+210.9%
純利益	515	+173.8%	185	+210.4%
資産項目	金額		金額	
	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	199,532	+7.6%	49,157	-3.0%
総資産	210,894	+8.2%	51,854	-2.6%
純資産	11,378	+4.7%	3,441	+5.7%

損益項目	ダイヤモンドアセットファイナンス(DAF) MUL持分割合:100%		御幸ビルディング(御幸ビル)* MUL持分割合:97%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	7,680	+28.9%	3,130	-
売上総利益	2,370	+17.8%	1,603	-
営業利益	755	-	1,361	-
経常利益	759	-	1,113	-
純利益	972	+655.2%	642	-
資産項目	金額		金額	
	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	167,948	+8.5%	52,177	-0.6%
総資産	176,862	+5.1%	56,911	+1.3%
純資産	11,290	+9.4%	17,092	+3.6%

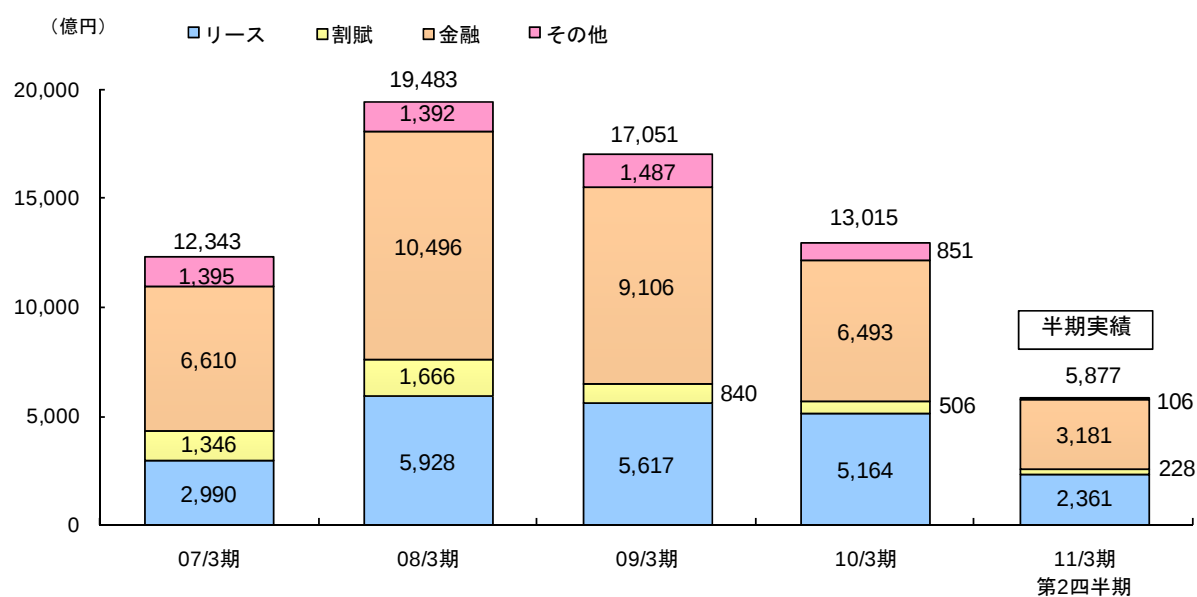
※御幸ビルディングは昨年7月に連結子会社化

6. 営業状況（契約実行高）

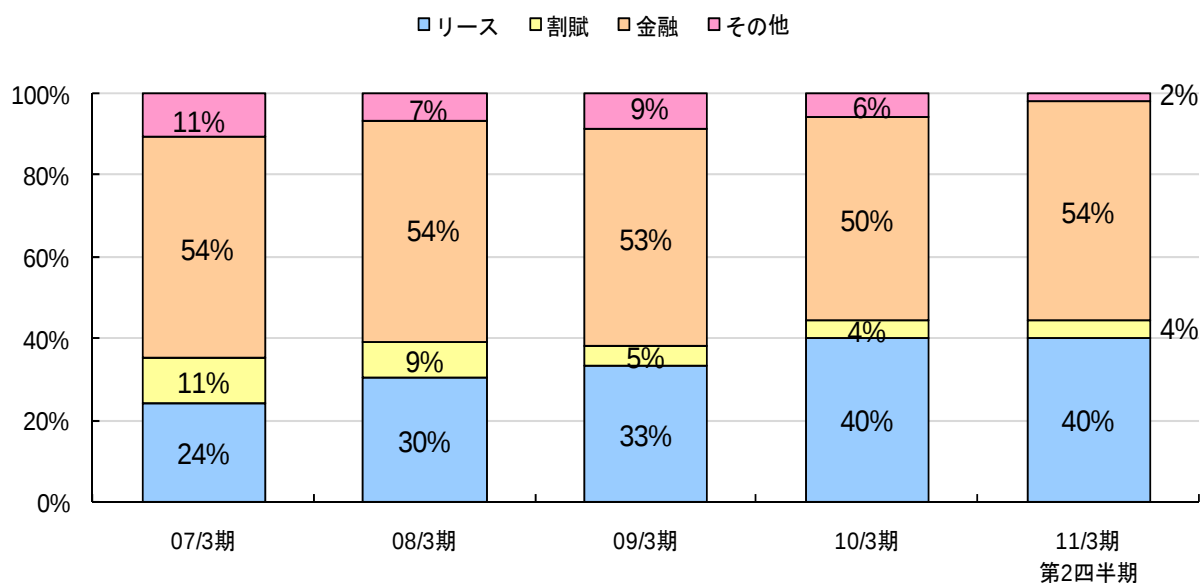
2011年3月期第2四半期累計期間における契約実行高は、前年同期比12.5%減少の5,877億円を計上。取引種類の内訳は、リース取引が15.6%減少、割賦取引が19.6%減少、金融・その他取引が9.6%減少となりました。

取引種類別構成比は、リース40%、割賦4%、金融・その他56%。

取引種類別契約実行高（元本ベース）の推移



取引種類別契約実行高の構成比



2011年3月期第2四半期累計期間における契約実行高の内訳は以下のとおりです。

リース契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2010/3期 第2四半期	2011/3期 第2四半期	前年同期比
情報関連・事務用機器	693	553	-20.2%
産業・工作機械	893	649	-27.4%
土木建設機械	105	53	-49.1%
輸送用機械	145	193	+33.5%
医療機器	214	216	+1.2%
商業用およびサービス機器	312	261	-16.2%
その他	432	432	-0.1%
合計	2,797	2,361	-15.6%

割賦契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2010/3期 第2四半期	2011/3期 第2四半期	前年同期比
情報関連・事務用機器	17	24	+41.4%
産業・工作機械	50	20	-58.8%
土木建設機械	30	31	+4.9%
輸送用機械	11	15	+31.4%
医療機器	31	26	-15.8%
商業用およびサービス機器	50	70	+38.6%
その他	91	38	-57.6%
合計	284	228	-19.6%

金融・その他契約実行高 内訳

(単位:億円)

	2010/3期 第2四半期	2011/3期 第2四半期	前年同期比
ファクタリング	1,236	1,528	+23.7%
不動産関連	1,066	803	-24.7%
その他融資等	1,332	955	-28.3%
合計	3,635	3,287	-9.6%

契約実行高 合計（リース、割賦、金融、その他）

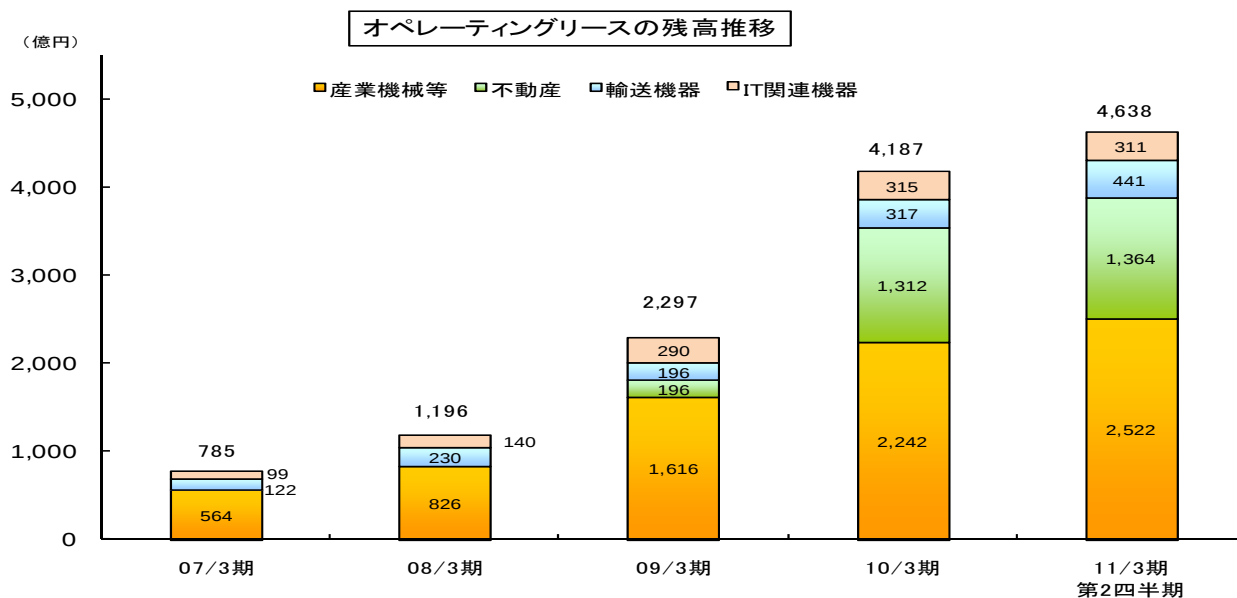
(単位:億円)

	2010/3期 第2四半期	2011/3期 第2四半期	前年同期比
合計	6,716	5,877	-12.5%

7. 営業の取組み

(1) オペレーティングリース

物件価値に着目し、リース期間満了後の残価を設定しリース料を算定するオペレーティングリース取引では、産業工作機械や輸送機器、PC レンタル等、幅広い物件を取扱っています。オペレーティングリースは、お客様のご希望に応じたリース期間の設定が可能のため、生産スケジュールに応じた機動的な設備導入が可能です。当社は業界で早くからオペレーティングリースを展開しており、着実に実績を伸ばしております。



(2) 中古機器売買

リースビジネスで培った経験とノウハウを活用して、半導体製造設備・工作機械・医療機器・情報関連機器等の中古機器売買業務を展開しています。タイムリーに設備を導入したい、安全な中古機器を導入したい、というお客様のニーズにお応えしています。

●ユーマシン

中古工作機械・産業機械の仕入販売を行う専門商社。
国内3ヶ所に自社倉庫を持ち、年間約7千台の仕入・販売を行っています。



●エム・キャスト

中古医療機器の販売・買取を行う業界トップクラスの専門商社。
業界で初めてISO9001を取得するなど、品質管理を徹底し、安全性の高い機器を提供しています。



●ダイヤモンドイクイップメント

米国の中古半導体製造装置の大手商社TLCイクイップメント社と業務提携し、海外での仕入販売を行うなど、積極的に事業展開しています。



●MULエコビジネス

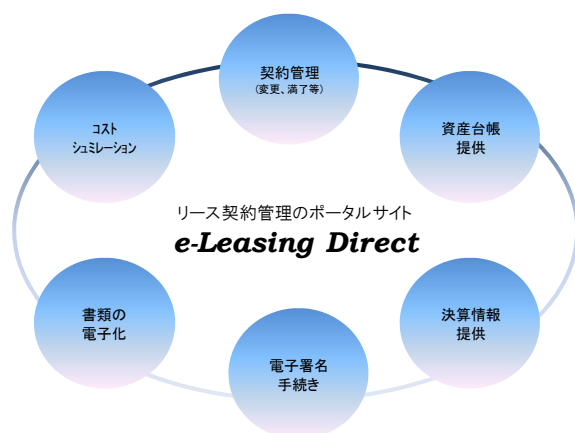
リースアップしたPCやOA機器など年間約28万台を仕入れ、データ消去処理などを施した上で、リユース・リサイクルを行っています。



(3) *e-Leasing Direct* (資産管理サービス)

業界に先駆けて提供している Web リース取引サービス。当社独自のサービス「*e-Leasing Direct*」では、契約から満了までの一連の手続きを Web 上で行うことができ、また、リース会計基準に対応した会計関連情報をお客様に迅速かつ無償でご提供いたします。さらに、*e-Leasing Direct* は J-SOX 対応にもご活用頂けることから、多くのお客様よりご好評を頂いています。

<主な機能>

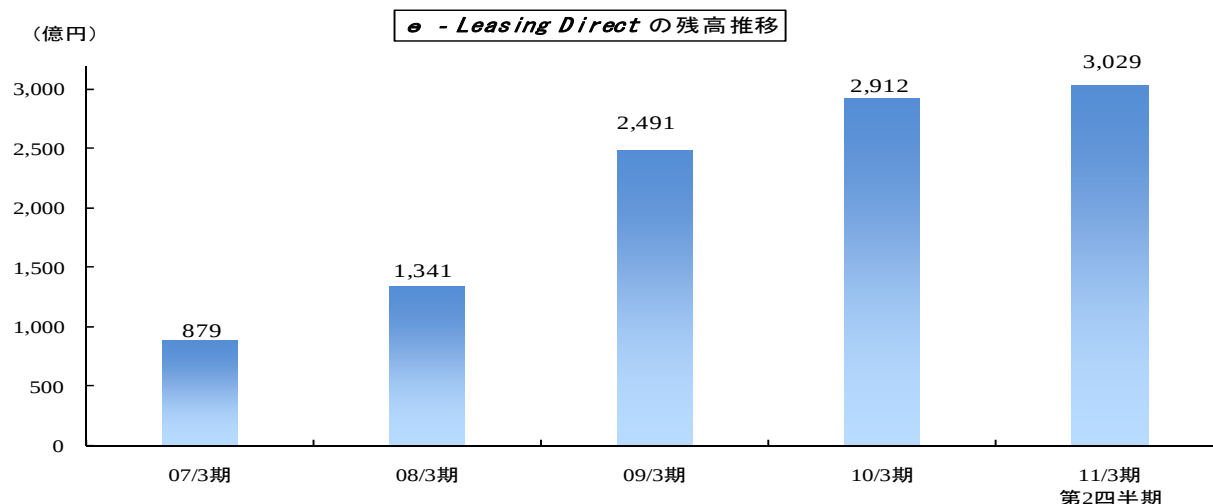


<導入実績事例>

業種	代表的な物件
多店舗展開する流通・飲食業	POSレジ 現金自動預け払い機
鉄道会社	自動改札機
飲料メーカー	自動販売機
製造業	金型
レンタル会社	レンタル物件



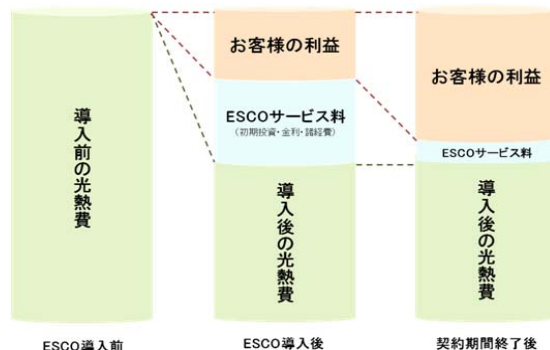
主なニーズ
✓資産管理業務のアウトソーシング ✓経理処理の簡素化 ✓J-SOX・内部統制の強化



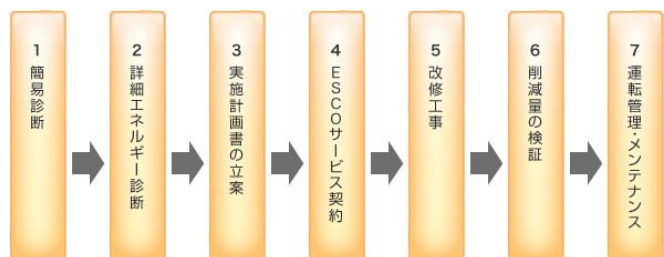
(4) ESCO (Energy Service Company) 事業 (環境関連サービス)

ビルや工場、ホテル、病院などの施設に対して、省エネルギー化のプランニング、改修工事、ファイナンス提供、エネルギー削減の効果保証などパッケージでサポートする ESCO 事業において、当社は豊富な実績とノウハウにより、お客様に合ったサービスを提供しています。これまでの取扱件数は累計で 374 件と、全ての ESCO 事業者の中でもトップクラスの実績となっています。

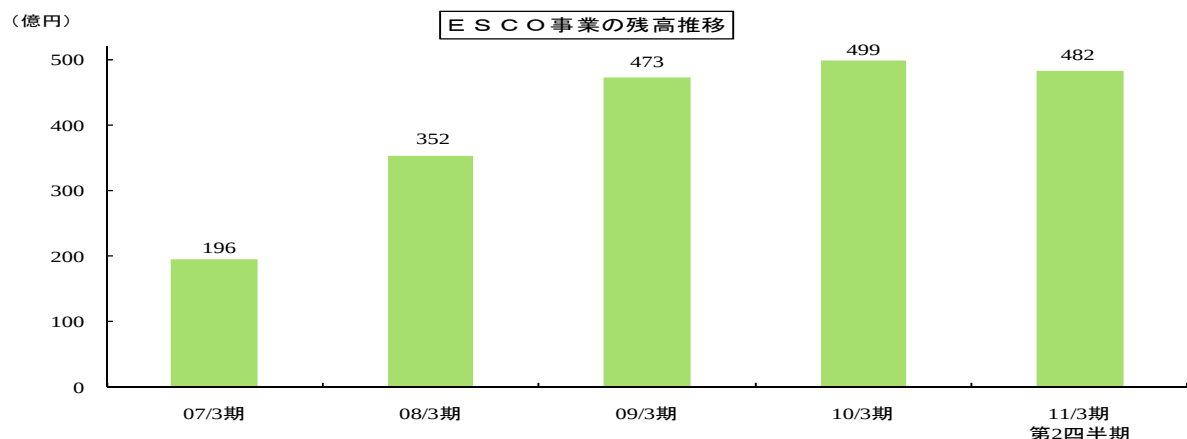
<導入メリット>



<業務フロー>



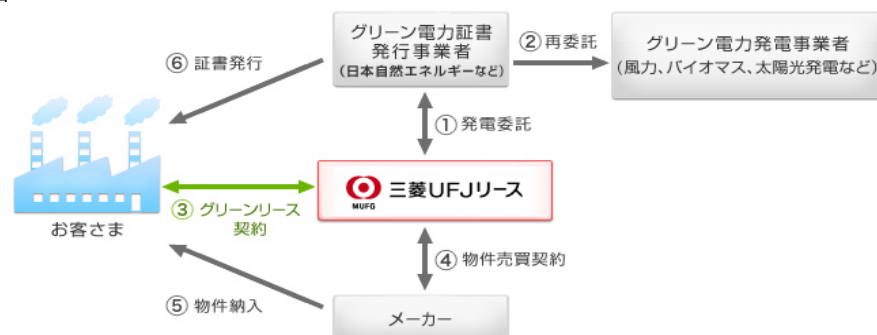
<実績推移>



(5) グリーンリース (環境関連サービス)

グリーンリースは、機器・設備のリースにグリーン電力証書を割り当てることで、お客様が機器・設備の使用により消費される電力の一部を、環境にやさしい電力で賄うことができるリーススキームです。

<スキーム図>



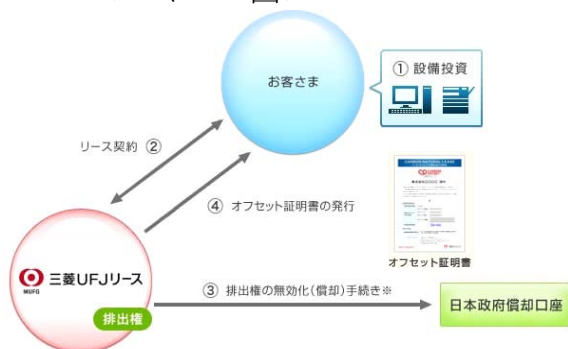
(6) 排出権関連ビジネス（環境関連サービス）

地球温暖化問題へのソリューションとして、リースする物件に排出権を割当てリース物件から生ずる CO₂ を相殺する「カーボンナチュラルリース」や、お客様に代わって、排出権の購入から償却に至るまでの手続きを受託する「オフセットパートナーサービス」など排出権関連サービスをご提供しております。2010年9月末時点において、契約件数は累計で 1,988 件、排出権割当量は 16,542 トンの実績となっております。

○カーボンナチュラルリース

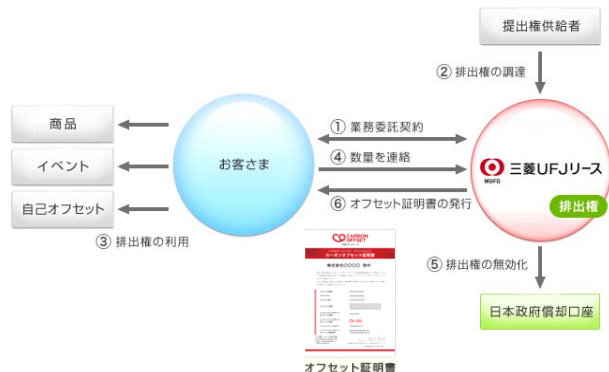
お客様にリースする物件に当社が保有・調達した排出権を割当て、リース期間を通じて物件から生じる CO₂ の全部または一部を相殺するリーススキーム。当リースをご利用頂くことで、お客様が使用するリース物件の排出量をゼロとみなすことも可能です。

<スキーム図>

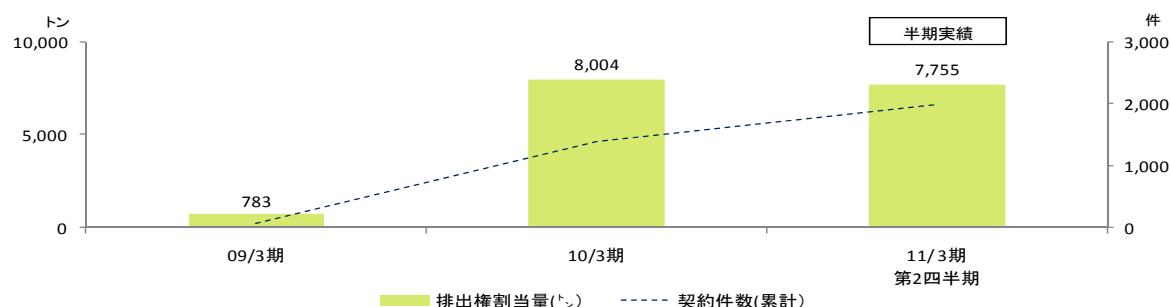


○オフセットパートナーサービス

排出権の利用を検討されているお客様に対し、当社がお客様に代わって排出権の調達、管理、政府口座への償却に至るまでの手続きを一括で受託するサービス。お客様は排出権の保有など煩雑な事務手続きを行うことなく、その効果を利用することができます。



<累計契約件数と年間排出権割当量の推移>

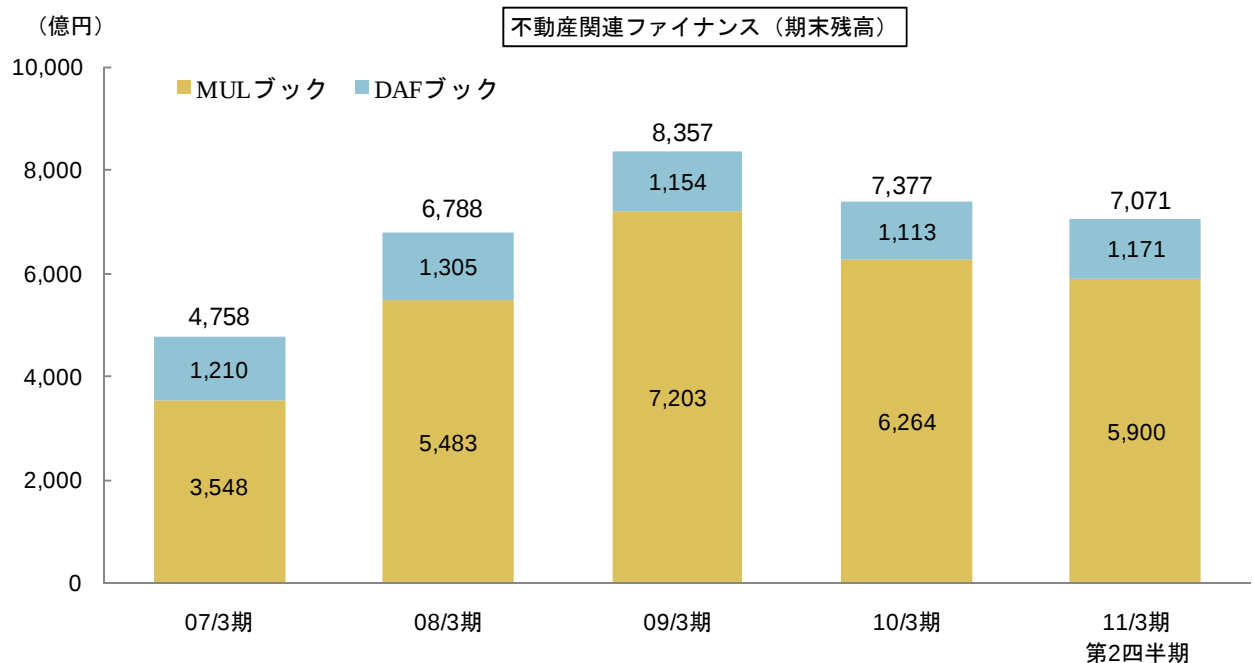


<その他の主な導入実績>

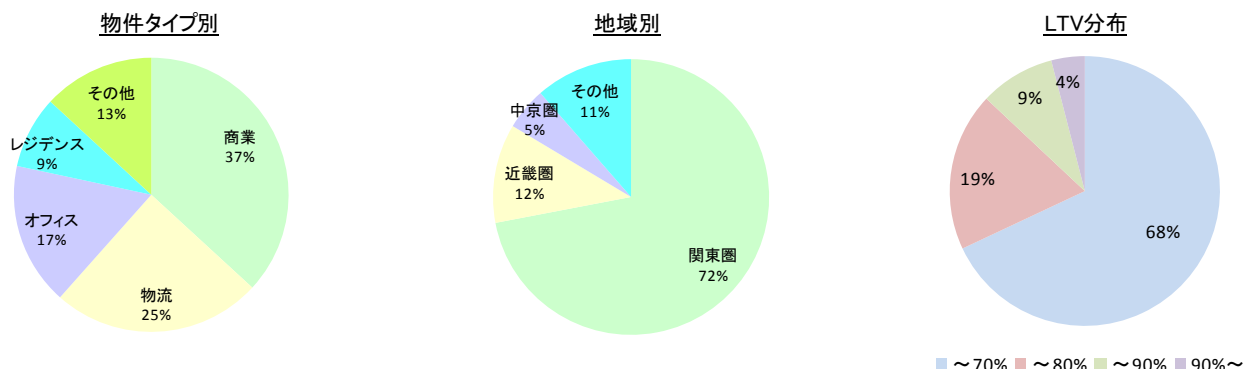


(7) 不動産関連ファイナンス

主に商業用、物流用、オフィス用を対象とした不動産関連ファイナンス。対象不動産からの収益力を評価して実行するノンリコースローンを中心に、様々なスキーム、案件を取組んでいます。不動産のノンリコースローンでは、厳格なリスク管理の下、主として信用力の高い大手不動産会社等が組成する案件を選別して取組んでいます。また、グループ会社のダイヤモンドアセットファイナンス（DAF）では、プロジェクトファイナンスとオーナーローンを取り扱うなど、不動産関連におけるお客様の様々なニーズにお応えしています。



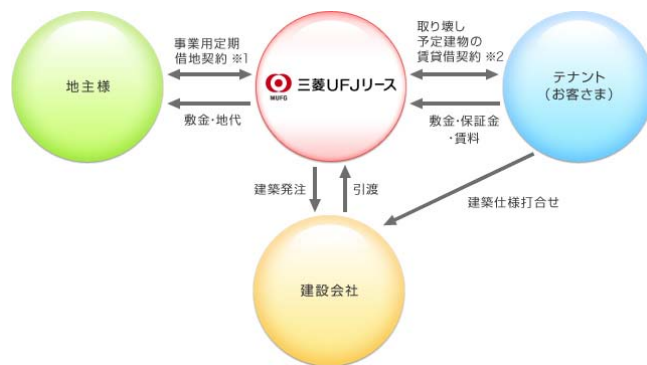
MUL ブック案件内訳と LTV 分布（2010 年 9 月末時点）



(8) シンフォニー（不動産関連サービス）

事業用定期借地権を利用した建物質貸借取引「シンフォニー」において、当社は大規模なショッピングモールや複合型商業施設を始め、物流施設やショールーム、飲食チェーン店など様々な建物を取組んでおります。テナント、デベロッパーの皆様にとっては、少額の初期投資でご希望の建物を機動的に展開でき、また、地主様にとっては土地の有効活用が出来るということで、当社のシンフォニーはご好評頂いております。

<スキーム図>



<主なメリット>

- ✓ 初期投資が軽減
- ✓ キャッシュフロー負担の軽減
- ✓ コスト把握が容易
- ✓ 複数の土地オーナーとの交渉が容易
- ✓ 建物の所有に伴う管理事務の簡素化

<最近実行・契約したシンフォニー案件>



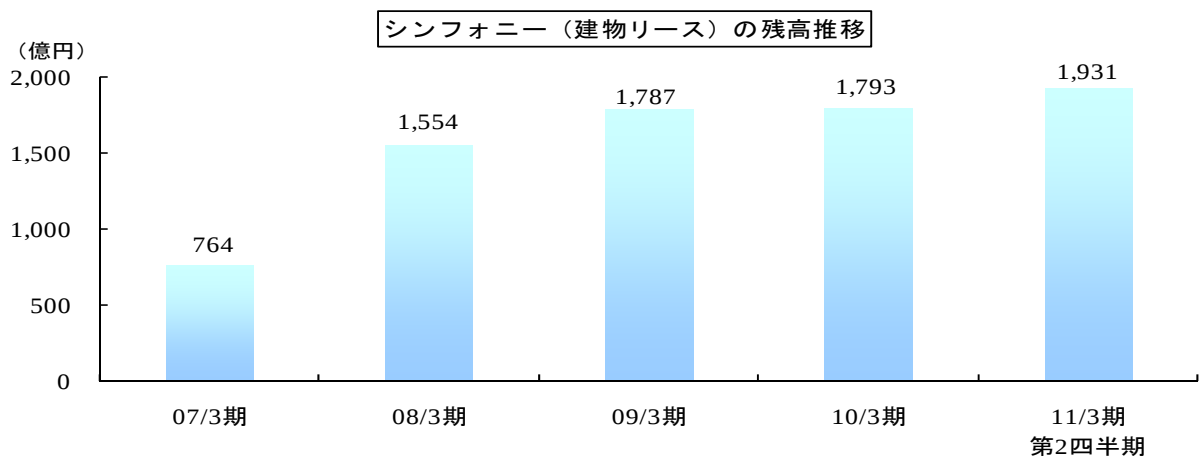
名谷ショッピングセンター「LUCCA 名谷」
(兵庫県神戸市)



スポーツ用品店ゼビオあすと店（仮称）
(宮城県仙台市)



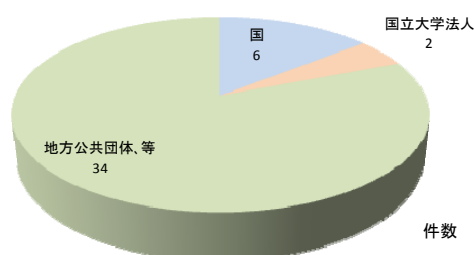
ゼビオアリーナ
(宮城県仙台市)



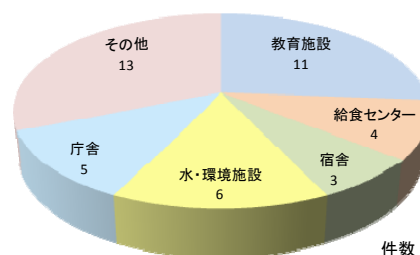
(9) P F I (Private Finance Initiative) 事業 (不動産関連サービス)

民間の資金・経営ノウハウを活用し、効率的・効果的な社会資本整備・公共サービスを実現するPFIにおいて、当社は単なるファイナンス機能の提供に留まらず、代表企業としてPFI事業のアレンジや出資を伴う事業参加も積極的に行っています。
これまで当社は、累計で42件を受注し、うち14件は代表企業として取組んでおり、すべてのPFI事業者の中でもトップクラスの実績を誇っています。

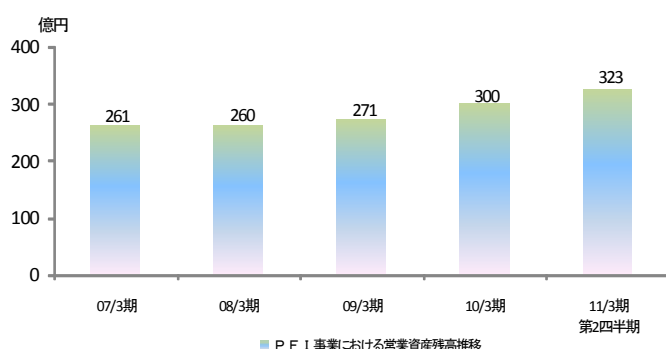
<発注者別 P F I 事業内訳>



<施設種類別 P F I 事業内訳>



< P F I 事業における営業資産残高の推移>



<最近の P F I 事例>



今夏より利用が始まった銚子市立銚子高等学校

(千葉県銚子市)

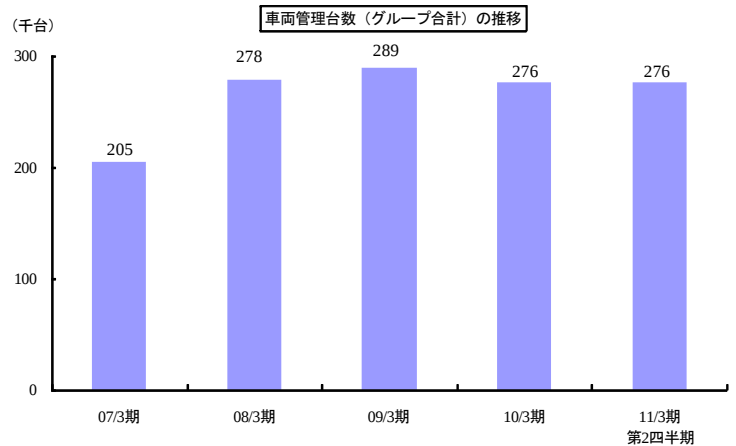
<最近の取組実績>

時 期	名 称	事業規模
2008年4月	銚子市立銚子高等学校施設整備等事業 (千葉県銚子市)	約60億円
2008年7月	(仮称) 仙台市新高砂学校給食センター整備事業 (宮城県仙台市)	約105億円
2008年12月	横浜市水道局川井浄水場再整備事業 (神奈川県横浜市)	約265億円
2009年1月	(仮称) 名取市新学校給食共同調理場整備等事業 (宮城県名取市)	約68億円
2009年2月	公務員牛田住宅 (第 I 期) 整備事業 (広島県広島市)	約81億円
2009年7月	(仮称) 南千里駅前公共公益施設整備事業 (大阪府吹田市)	約86億円
2009年10月	(仮称) 浦安市千鳥学校給食センター第三調理場整備事業 (千葉県浦安市)	約57億円
2009年12月	北総浄水場排水処理施設設備更新等事業 (千葉県印西市)	約76億円
2010年1月	東雲合同庁舎 (仮称) 整備等事業 (東京都江東区)	約120億円
2010年2月	戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業 (神奈川県横浜市)	約170億円
2010年7月	静止地球環境観測衛星の運用等事業	約300億円

(10) オートリース

オートリース事業を行う三菱オートリース（三菱UFJリース 50%、三菱商事 50% 出資）、オートクレジット事業を行うMMCダイヤモンドファインナンス（三菱UFJリース 50%、三菱自動車工業 47%出資）をグループ会社に加え、オートファイナンス分野において一層のサービス向上・強化を図っています。2010年9月末時点のグループ全体の車両管理台数は約276千台となっています。

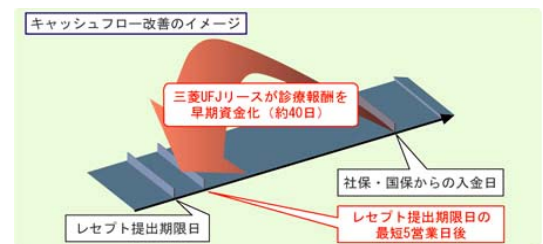
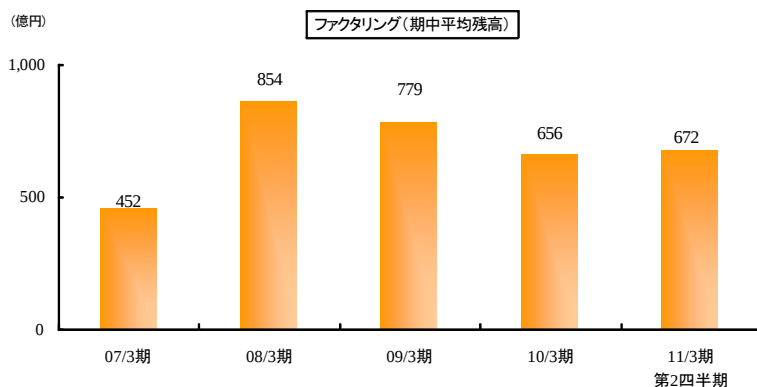
～三菱UFJリースグループのオートファイナンス・サービスネットワーク～



(11) ファクタリング

小口大量債権の処理にも適応した専用システムを駆使して、主に売掛債権、診療報酬債権を対象に、お客様の資金ニーズに対応しています。お客様は債権を当社に譲渡することで、早期に資金化が可能となりキャッシュフローの改善を図ることができます。また、ファクタリングを活用して資産のスリム化に繋げるなど、財務戦略にも広くご利用いただいております。

<診療報酬債権ファクタリングのイメージ図>



主なメリット

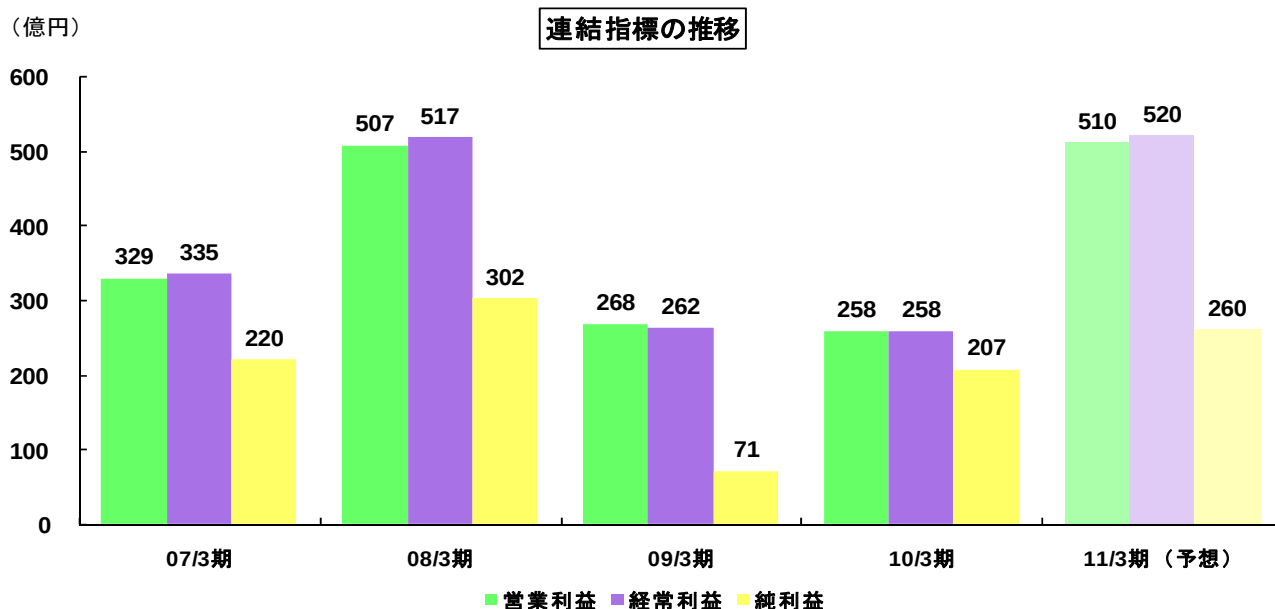
- ・早期資金化
- ・調達手段の多様化
- ・財務内容の改善（バランスシートのスリム化）

8. 2011 年 3 月期決算予想

2011 年 3 月期決算（予想）

	連結	
	金額(億円)	増減率
売上高	7,300	−2.3%
売上総利益	1,150	+5.0%
営業利益	510	+97.6%
経常利益	520	+101.4%
純利益	260	+25.4%
一株当たり配当金	50 円	+2 円

上記数値は 2010 年 11 月 5 日時点での 2011 年 3 月期決算予想です。



配当推移

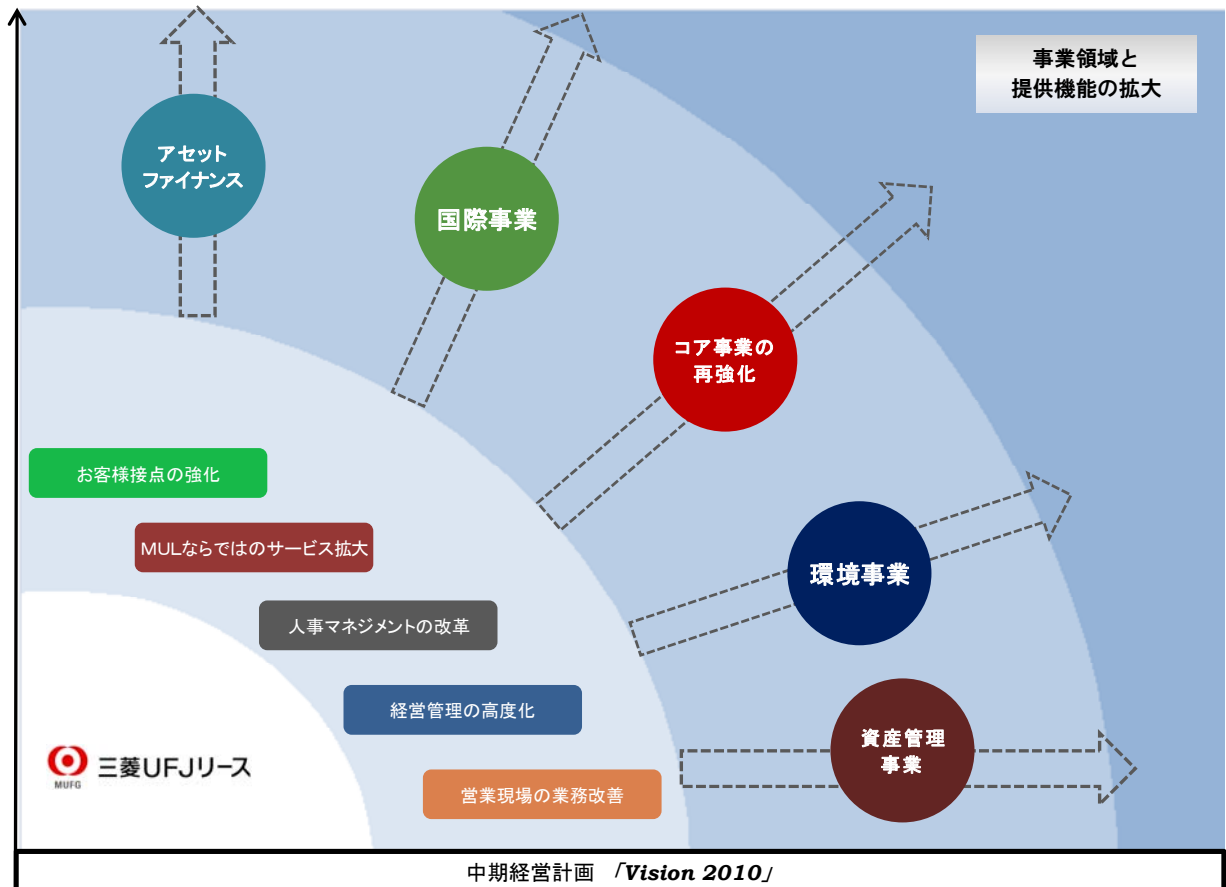
	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期 (予想)
一株当たり配当金 (円)	40	42	46	48	50
一株当たり純利益 (円)	387	377	80	231	290

9. 中期経営計画について

多様化するお客様ニーズに対応するため、中期経営計画に掲げた戦略・施策を着実に実行し、事業領域の拡大と提供機能の拡充を図っています。

また、外部パートナーとの連携や、経営基盤の強化を行うなど、商品サービスの質の向上に努めています。

○中期経営計画と重点分野



○主な施策・取組み



10. ニュースリリース

本年発表した主なリリースは以下の通りです。詳細につきましては、当社ホームページ「新着情報」をあわせてご参照いただきますようお願い申し上げます。

主なリリース (当社ホームページアドレス:<http://www.lf.mufig.jp/>)

リリース日	リリース内容
10.01.12	【国際】アジア地域におけるビジネス展開についてアジア大手金融グループ”Financial One Corp”と業務提携 台湾最大手リース会社である Chailease Finance Co., Ltd.を中心に中国、タイ、ベトナムでリース・ファイナンス事業を展開する Financial One Corp.とアジア地域(特に中国、台湾、ベトナム)でのリース・ファイナンスビジネス、中古資産の売買ビジネス、アレンジャービジネスを始めとする複数のビジネスについて協働で推進していく事を目的とした業務提携に合意いたしました。
10.01.14	【国際】米国西海岸に営業拠点を開設 米国カリフォルニア州ロサンゼルス郊外のトーランス市に当社 100%子会社である Mitsubishi UFJ Lease & Finance (U.S.A.) Inc.の支店を開設いたしました。
10.03.03	【営業・PFI】「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業」を落札 当社を代表企業とするコンソーシアムは、横浜市による PFI 事業である「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業」における落札者に選定されました。
10.03.04	【財務】第9回無担保普通社債を発行 三菱UFJリース第9回無担保普通社債 200 億円を発行することといたしました。利率:0.72%(4 年)
10.03.17	【国際・医療】中古医療機器販売についてグループ会社が米国大手中古医療機器商社と業務提携 米国の大手中古医療機器商社である Block Imaging International, Inc.と中古医療機器の販路拡大を目的とした業務提携契約を締結いたしました。
10.04.09	【営業・医療】フィリップスと医療機器販売において戦略的業務提携を締結 フィリップスエレクトロニクスジャパンと、医療機器の導入を検討している医療機関に対し、フィリップス社製の医療機器を対象としたファイナンスサービスの提供を、共同で行うことといたしました。
10.04.30	【営業・環境】名古屋大学医学部附属病院の省エネルギー支援サービスを開始 三機工業、トヨタエンタプライズと共同で、名古屋大学医学部附属病院等の施設の省エネルギー支援を行うサービスを開始いたしました。
10.05.25	【財務】第10回無担保普通社債を発行 三菱UFJリース第10回無担保普通社債 250 億円を発行することといたしました。利率:0.687%(5 年)
10.07.09	【営業・PFI】気象庁から「静止地球環境観測衛星の運用等事業」を落札 当社を代表企業とするコンソーシアムが、気象庁によるPFI事業である「静止地球環境観測衛星の運用等事業」における落札者に選定されました。
10.07.23	【その他】岐阜県で森林・林業再生プロジェクトをスタート 住友商事、岐阜県森林組合連合会と共同で、岐阜県での森林・林業再生プロジェクトを開始いたしました。
10.08.03	【営業・環境】国内初電気自動車を利用したCO2 排出削減クレジットを創出 三菱オートリース、山武と共同で、電気自動車を利用したCO2削減クレジットの創出を開始いたしました。
10.08.26	【財務】第11回無担保普通社債を発行 三菱UFJリース第11回無担保普通社債 200 億円を発行することといたしました。利率:0.532%(5 年)
10.09.30	【営業・環境】グリーン電力証書を活用した太陽光発電設備の普及を促進 太陽光発電設備等の再生可能エネルギー電源設備をリース等で導入されたお客様より、同設備を使用することで得られる環境価値を有償で譲り受け、グリーン電力証書として証書化するサービスを開始いたしました。

本資料に掲載している情報は、資料作成時点での当社の見解や入手している情報に基づく将来予測等が含まれており、その情報の正確性や完全性を約束するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。将来に関する事項については、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。



Mitsubishi UFJ Lease & Finance

Value Integrator